



わくわく どきどき 本とともにだち ～読書のまち いちのみや～

一宮市子ども読書活動推進計画（第3次）概要版

Q 「一宮市子ども読書活動推進計画」って？

子どもの読書活動を、国を挙げて支援するため、平成13年には「子どもの読書活動の推進に関する法律」を定め、子どもの読書活動の推進に関する基本理念や、国及び地方公共団体の責務等を明記し、家庭や地域、学校図書館や行政が果たす役割や取り組みなどを示しています。

この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、国が「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定・公表すること、地方公共団体が「子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画」を策定・公表すること等を定めることにより、施策の総合的かつ計画的な推進を図り、もって子どもの健やかな成長に資することを目的としました。

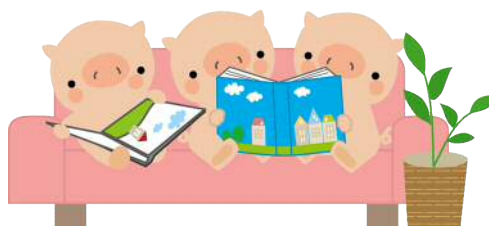
この法律に基づき、平成19年に「一宮市子ども読書活動推進計画（第1次）」を策定し、その計画の期間が平成19年度からおおむね5年間であったため、国や県が策定した計画を踏まえて、一宮市における子どもの読書活動の推進に関する施策の方向性や取り組みを示すことを目的として、平成24年に「一宮市子ども読書活動推進計画（第2次）」を策定しました。

さらに、「一宮市子ども読書活動推進計画（第2次）」の計画期間が平成24年度からおおむね5年間であったため、今回「一宮市子ども読書活動推進計画（第3次）」を策定しました。この計画は、平成25年に行った、子どもの時から読書に親しむことで、読書を基盤とした人づくり、街づくりを進めることを願う「子ども読書のまち宣言」の理念を推進することを目的としています。

Q 「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画の方針」とは？

国において、平成25年5月17日に閣議決定した「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」では、次の基本的方針の下、子どもの読書活動の推進に取り組むと決定されています。

- 1) 家庭、地域、学校を通じた社会全体における取り組み
- 2) 子どもの読書活動を支える環境の整備
- 3) 子どもの読書活動に関する意義の普及



Q 一宮市子ども読書活動推進計画（第2次）の目標値の達成状況は？

平成24年度から28年度までの第2次推進計画実施期間中の取り組みについて、平成27年度終了した時点での成果は次のとおりとなりました。

目標値を定めた19項目の中で、目標値に達しているものは12項目、また、目標値に達していないものの改善されたものは2項目、改善が遅れているものは5項目という結果でありました。

子ども読書活動推進計画（第2次）における目標値の達成状況

区 分	目 標 指 標	24年度 (策定時)	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)
家庭の役割	ブックスタート事業 における絵本配布率	99.9%	100%	100%
地域の役割	児童図書資料(除籍本含む) の児童館・保育園への配布	児童館 22館 児童クラブ 25か所 保育園 50園	児童館 25館 児童クラブ 30か所 保育園 54園	児童館 25館 児童クラブ 30か所 保育園 66園
学校の役割	児童生徒1人当たり の1か月間の読書冊数 (6月調査)	小学校低学年 29冊 小学校高学年 13.1冊 中学校 5冊	小学校低学年 24.2冊 小学校高学年 12.8冊 中学校 5.1冊	小学校低学年 27.1冊 小学校高学年 14.8冊 中学校 5.2冊
	児童生徒1か月間の 不読率	小学校 0.0% 中学校 0.1%	小学校 0.0% 中学校 0.4%	小学校 0.0% 中学校 0.0%
	学校図書館図書整備率 (蔵書合計/標準冊数合計)	小学校 123.5% 中学校 118.1%	小学校 130.3% 中学校 124.9%	小学校 120% 中学校 120%
市図書館の 役割・	移動図書館の小学校 ステーションの拡大	小学校 11校	小学校 11校	小学校 14校
子ども文化 広場の役割	児童1人当たり 児童図書蔵書冊数	6.2冊/人	7.3冊/人	5.5冊/人

	児童 1 人当たり 年間児童図書貸出冊数	21.8 冊/人	26.1 冊/人	22.1 冊/人
子育て支援 センター・ 児童館等の 役割	(子育て支援センター) 低年齢児向けの 絵本の増冊	1,632 冊	2,089 冊	1,800 冊
	(放課後児童保育) 夏休みなど一日保育時の 読み聞かせ活動の充実	児童館 24 館 児童クラブ 28 か所	児童館 25 館 児童クラブ 32 か所	児童館 25 館 児童クラブ 30 か所
保育園・ 幼稚園の 役割	園児 1 人当たり蔵書冊数	5 冊/人	4 冊/人	7 冊/人
	(公立保育園) 保護者へ の絵本の貸出率	91%	100%	100%

Q 計画の期間は？

この計画は、0 歳からおおむね 1 8 歳までの子どもを対象に、平成 2 9 年度からおおむね 5 年間とします。

Q 何を目標にするの？

子どもたちが、たくさんの本と出会い、読書のおもしろさ、すばらしさを発見できるような環境を作るため、家庭・地域・学校等の連携による社会全体での推進を目指し、次の 4 つを基本目標とします。

- 1 みんなで読書
- 2 いつでもどこでも読書
- 3 楽しみがひろがる読書
- 4 いつまでもつづける読書

4 つの基本目標を実現するために、次の基本方針を定めて取り組みます。

- (1) 家庭・地域における子どもの読書活動の推進
- (2) 学校・市図書館等における子どもの読書活動の推進
- (3) 子どもの読書環境の整備・充実
- (4) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及
- (5) 子どもの読書活動推進体制の整備・充実



Q 家庭や地域に対してはどう取り組むの？

(1) 家庭の役割

家庭で日頃から子どもと一緒に読書する時間を持つことや、家族が楽しく読書する環境を作ること、さらに本について家族で話すというような興味や関心を引き出す家庭での働きかけが、子どもの読書習慣を形成する上で大変効果的と言えます。その重要性をより広く、より多くの人に理解していただけるよう、積極的に家庭への啓発活動を展開します。

(2) 地域の役割

市内の児童館・児童クラブや保育園・小学校・市図書館では既にボランティアグループによる、絵本や紙芝居の読み聞かせ、ストーリー・テリング、朗読等のお話し会が、子ども読書のためのボランティア活動として行われています。

こうしたボランティアグループと協力関係を保ち、計画的・継続的な活動を支援していくとともに、ボランティアの養成に努力し、子ども読書活動を推進します。

また、児童図書資料（図書館除籍本）を、現在児童館・児童クラブや保育園に配布しておりますが、今後その対象を拡大し、有効利用を図ります。



Q 学校や市図書館等ではどう取り組むの？

(1) 学校の役割

主体的・意欲的に読書活動を行う子どもを育てるためには、いろいろな機会、場面を通じて読書に対する興味づけをし、読書の楽しさを味わわせることが必要です。それには、教職員や保護者、学校図書館司書や学校図書館ボランティアなど、周りの大人が自らの読書活動を豊かにし、読書のよさを語ったり、良書を薦めたり、「読み聞かせ」等の時間を設定することが必要です。

また、魅力的な学校図書館にするため、市図書館等との連携を深め、「利用しやすい学校図書館づくり」を推進します。さらに、学校図書館司書と学校図書館ボランティアとの協働を進め、「人のいる、開かれた学校図書館づくり」を推進します。

(2) 市図書館の役割

子どもが身近に読書に親しめるような図書館として、絵本・児童書の充実に努めるとともに、市6図書館との連携を図り、子どもを対象にした児童サービスの各種事業を展開します。

特に、中・高校生の読書離れという課題を克服できるよう、「ティーンズコー

ナー」の充実を図ります。また、新生児を対象に実施しているブックスタート事業では、親が子に絵本を読み聞かせることの大切さをお話できる最高の機会として捉え、継続して事業を展開します。

さらに、障害がある子どもや外国人の子どもなど、特別な支援を必要とする子どもたちの読書活動を推進するために、きめ細かなサービスを展開し、読書環境を整備します。

子どもの読書は成長に大きく影響を与えることから、子どもの成長・発達段階に合わせた子どもの読書の大切さを周知するため、生涯学習課等との連携を深め、周知活動を積極的に進めます。

学校との連携強化では、現在実施している各種読書活動推進事業をさらに充実させるとともに、市図書館見学や体験学習・児童文化教室の開催により、子どもたちがより本と親しめる環境づくりに努めます。

リサイクル図書の活用では、保育園や学校だけでなく、児童館・児童クラブ、子育て支援センター・放課後子ども教室・児童養護施設とも連携し、積極的に読書の場づくりを目指します。

また、これら子どもの読書活動の推進のため、学校や保育園、読み聞かせ、ストーリー・テリング、ブックスタートボランティア、さらには地域で活躍されている主任児童委員との連携強化に努めます。

（３）子育て支援センター・児童館等の役割

保育士や支援員等にとって必要な知識・技能を高めるために、子どもの読書活動に関する研修に参加し、子どもの年齢や発達段階に応じた「読み聞かせ」に積極的に取り組んでいきます。

（４）保育園・幼稚園等の役割

各園の図書資料の計画的な整備に努めるとともに、子どもたちが絵本や物語を身近なものと感じられるよう、絵本コーナーなどの環境整備を図っていきます。

（５）保健センターの役割

ブックスタート事業の協力及び市図書館との連携を図っていきます。乳幼児の親子へ、絵本の読み聞かせのすばらしさを伝えていきます。

（６）青少年育成課・青少年センターの役割

「青少年によい本をすすめる市民運動」を引き続き推進していきます。来所する子どもたちが、読書に親しみを持つことができるよう、市図書館との連携を図り利用しやすい図書コーナーになるよう努めていきます。

Q 子どもの読書環境についての整備・充実は？

(1) 市図書館の整備・充実

これからの市図書館における子どもの読書活動推進のあり方を、中央図書館を中心に、尾西図書館、木曽川図書館、子ども文化広場図書館が連携して、読書による子どもの創造性を育む活動に取り組んでいきます。

市図書館としては、子どもの読書活動を推進していくため、豊富で多様な図書資料の整備をさらに進めていくとともに、読み聞かせ、児童文化教室、小学生一日図書館員体験などの体験型読書活動も充実していきます。

引き続き、読み聞かせボランティアとの協働、育成や小中学校読書支援事業の継続、充実に努めます。

また、移動図書館車ほたる号による遠隔地での児童への図書館サービスの継続に努めます。

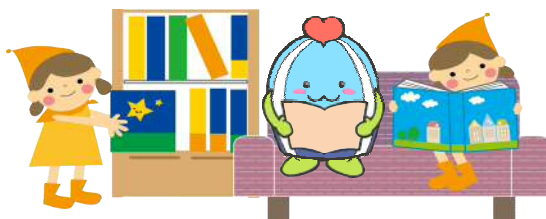
(2) 学校図書館の整備・充実

「読書センター」「学習情報センター」としての機能を併せ持った、充実した学校図書館づくりを目指し、市図書館との連携を深め、子どもの読書活動を支援するための環境整備に努めます。

Q 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及を図るには？

子ども読書活動を幅広く市民に理解していただくために、「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」、「秋の読書週間」などの読書啓発の時期を中心に展開する事業や、市内で開催される子どもや親子が集まるさまざまなイベントを通じて、多様な広報・啓発活動を進め、子どもの読書活動への関心を高める取り組みを行います。

そのため、市図書館等で収集した情報をはじめ、学校図書館やボランティア等のネットワーク、インターネット等の媒体を通じて収集した多様な情報等を集約していきます。それらの読書関連情報を「いちのみやとしょかんだより（子ども版）」等にまとめて配布するとともに、広報や図書館ウェブサイトの内容や使い勝手を工夫し、より広く市民に充実した情報を提供するよう努めていきます。



Q 子どもの読書活動推進体制の整備・充実は？

全市をあげて子ども読書活動を活発にするためには、関係施設や機関、団体が協力し連携するためのネットワークを作ったり、情報交換・意見交換の場を設定する必要があります。また、読書活動を支援・推進する人や団体は、幅広い知識や技術が要求されるため、読み聞かせ講習会や講演会を開催し、資質の向上を図るとともに人材の育成に努める必要があります。

このため、「子ども読書活動推進懇話会」や「子ども読書活動推進会議」を定期的に開催し、子ども読書に関する施策の進捗状況を把握し検証するとともに、市民の意見を反映して適宜必要な見直しを行い、「一宮市子ども読書活動推進計画」の実現を目指します。また、「子ども読書のまち宣言」の理念を推進するなど、より積極的な読書活動の推進を図っていきます。



Q 子ども読書活動推進計画（第3次）の目標値は？

第2次推進計画の達成状況を踏まえて、計画をさらに前進させるために、目標値に達しているものの今後さらに目標値を高めていきたいもの、目標値に達していないものの改善されているもの、改善が遅れているため目標値の見直しが必要なものを区分して、第3次推進計画の目標値の設定を行いました。

子ども読書活動推進計画（第3次）における目標値

区 分	目 標 指 標	27年度 (実績値)	28年度(第2次 計画策定時目標値)	33年度 (目標値)
家庭の役割	ブックスタート事業 における絵本配布率	100%	100%	100%
地域の役割	児童図書資料（除籍本含む） の児童館・児童クラブ・保 育園への配布率 (配布施設数／施設数)	児童館 100%(25/25)	児童館 100%(25/25)	児童館 100%
		児童クラブ 94%(30/32)	児童クラブ 100%(30/30)	児童クラブ 100%
		保育園 79%(54/68)	保育園 100%(66/66)	保育園 100%

学校の役割	児童生徒 1 人当たり の 1 か月間の読書冊数 (6 月調査)	小学校低学年 24.2 冊 小学校高学年 12.8 冊 中学校 5.1 冊	小学校低学年 27.1 冊 小学校高学年 14.8 冊 中学校 5.2 冊	小学校低学年 27.1 冊 小学校高学年 14.8 冊 中学校 5.3 冊
	児童生徒 1 か月間の 不読率	小学校 0.0% 中学校 0.4%	小学校 0.0% 中学校 0.0%	小学校 0.0% 中学校 0.0%
市図書館の 役割	移動図書館の小学校 ステーション数	小学校 11 校	小学校 14 校	小学校 13 校
	児童 1 人当たり 児童図書蔵書冊数	7.3 冊/人	5.5 冊/人	8.7 冊/人
	児童 1 人当たり 年間児童図書貸出冊数	26.1 冊/人	22.1 冊/人	29.3 冊/人
子育て支援 センター・ 児童館等の 役割	(子育て支援センター) 低年齢児向けの 絵本の蔵書冊数	2,089 冊	1,800 冊	2,150 冊
	(放課後児童クラブ) 夏休みなど一日保育時の 読み聞かせ活動の実施率 (実施数/施設数)	児童館 100%(25/25) 児童クラブ 100%(32/32)	児童館 100%(25/25) 児童クラブ 100%(30/30)	児童館 100% 児童クラブ 100%
保育園・ 幼稚園等 の役割	園児 1 人当たり蔵書冊数	4 冊/人	7 冊/人	7 冊/人
	(公立保育園) 保護者へ の絵本の貸出率	100%	100%	100%
学校図書館 の整備・充 実	学校図書館図書整備率 (蔵書合計/標準冊数合計)	小学校 130.3% 中学校 124.9%	小学校 120% 中学校 120%	小学校 120% 中学校 120%

